

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》姫嶋瑞穂

【概 要】

最近では、テレビや新聞などで、法に関する話題がよく取り上げられている。しかし、法や法律と聞くと難しくなじみにくいイメージを持ってしまいがちである。例えば、医療従事者の職務は医療・薬事法制度によって規定されているが、医療をとりまく環境が刻々と変化しつづけるなかで、それに関連する法的問題に対しても、社会の関心は日々高まってきている。人はこの世に生まれてから死ぬまで法や法律と何らかの形で密接に関わっている。『法』とは何か、道徳や倫理といったほかの決まりごととはどう違うのか、我々にとって実は身近な『法』と「生命」「医療」との関係について改めて考えてみる、これが本講義のコンセプトである。初めて法学を学ぶ受講生には法律に対する興味や関心をもってもらうため、身近な出来事・ふとした疑問を出発点として、生命・医療に関わる身近なテーマを取り上げる。「法学」を学んでその諸原則を理解するとともに、医療に従事する専門職として法的思考（論理的思考）を身につける。

【学習目標】

（一般目標）

1. 現代医療の法的・倫理的諸問題に関する法的思考方法を身につける。
2. 法を学ぶことを通じて、社会に対する広い視野と深い洞察力を身につける。

（行動目標）

1. 医療に従事する専門職として法律学を活用できる。
2. 現代社会における法の役割について、自分の意見を交えながら適切に説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	医療と法 Part 1	医療に関する法の基礎知識と法制度の基本的しくみについて考える。 教科書p1～p8 p135～p139	姫嶋瑞穂
2	医療と法 Part 2	医療施設と医療提供体制の確保について考える。 教科書p23～p51	姫嶋瑞穂
3	医療情報の保護と利用	医療従事者の守秘義務と個人情報保護法について考える。 教科書p56～p64	姫嶋瑞穂
4	私の命はだれのもの？	患者の希望に医療従事者はどこまで従わなければならないのか。患者の権利と医療従事者の義務・治療上の特権をめぐる法律問題について考える。 教科書p19～p21 p139～p150	姫嶋瑞穂
5	生命の神秘への挑戦 Part 1	コピーされる命が可能となる遺伝子技術の発展とクローン人間をめぐる法律問題について考える。 教科書p240～p252	姫嶋瑞穂
6	生命の神秘への挑戦 Part 2	生命誕生への介入をめぐる生殖補助医療の問題について考える。 教科書p178～p187	姫嶋瑞穂
7	選ぶ技術・選ぶ人	出生前診断と障害児の「生まれる権利」について考える。 教科書p188～p194	姫嶋瑞穂
8	産まない権利・生まれる権利	人工妊娠中絶をめぐる法律問題について考える。 教科書p190～p194	姫嶋瑞穂

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
9	性転換手術はタブーか？	「さまよえるジェンダー」といわれる性転向症に悩む人々をめぐる生命倫理と法律との抵触について考える。	姫嶋瑞穂
10	人の死をめぐるジレンマ Part1	脳死・臓器移植問題が私たちに問いかけるものとはどんなことなのか？移植医療をめぐる議論について考える。 教科書p181～p188 p193～p198	姫嶋瑞穂
11	人の死をめぐるジレンマ Part2	生体移植と臓器売買に関する問題について考える。 教科書p3～p7 p195～p209	姫嶋瑞穂
12	人の死をめぐるジレンマ Part3	「自分らしい生を全うする」ためにはどうしたらいいのか？病名告知とインフォームド・コンセントに関する問題について考える。 教科書p19～p22 p151～p154	姫嶋瑞穂
13	人の死をめぐるジレンマ Part4	「自分らしく、人間らしく」死にたいと思うか？終末期医療と安楽死・尊厳死をめぐる法律問題について考える。 教科書p19～p22 p155～p177	姫嶋瑞穂
14	医療事故発生！責任はどう追及される？	医療事故をめぐる具体的事案を検討することで医療従事者の法的責任について考える。 教科書p9～13 p114～p134	姫嶋瑞穂
15	発展的学習のために	本講義全体の内容について総括し、医療をめぐる法的問題の解決策と残された課題について考える。	姫嶋瑞穂

【評価方法】

定期試験により評価する（100％）

【備 考】

教科書 ： 姫嶋瑞穂『医事法学入門』 成文堂 2019年
補足資料も配布する。

その他 ： 授業中の私語・携帯電話・途中退室は厳禁である。遵守できない者には厳正に対処する。

【学習の準備】

予習として、教科書の該当箇所を読んでおくこと（60分）。

復習として、教科書・講義ノートを活用し、授業中に配布する確認問題を解いて理解を深めること（100分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

（DP3）理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。